



少年剣士 全国制覇

昨年9月15日の全国都道府県対抗少年剣道大会・少年の部で、広島県代表として団体優勝という快挙を達成した橋本大治くん(11歳)。仲間と一緒に頑張った結果、優勝が決まった時は「すごい!すごい!すごい!うれしかった!いっぱい練習してきたかがありました。」と喜びの声。

その後は、広島県剣道場連盟個人選手権大会で優勝、広島県民体育大会5・6年の部で2位と好成績を残しています。

4月から最後の年になります。前年に続き県代表に選ばれて全国大会2連覇の目標を掲げ、欠点を克服すべく日々精進しています。



左から4人目が橋本くん

一緒に作って食べる 地域食堂

2019年4月から、月に1回呉市安浦会館で、地域食堂「やすうらみんなのひろば」を開催しています。「安浦で子ども食堂・地域食堂をしたい!あたたかい食事を一緒に食べられる場を作りたい!地域の人たちとつながりたい!」という想いで準備してきました。

食材は地域農家やグリーンコープの協力があり、大変助かっています。小さい子どもからお年寄りまで、毎回30人くらいと一緒に調理して食べ、食後はおしゃべりや遊びを楽しんでいます。昨年度は食事のほか、芋ほり・そうめん流し・もちつきなどもしました。

子どもたちは地域のおとなと一緒に、さまざまな体験ができる場にもなっています。



調理中

主催: やすうら地域食堂実行委員会
3~4月の開催予定: 3月22日(日)、4月26日(日) 10:00~14:00
問い合わせ: やすうら地域食堂事務局
 ☎0823-84-5803 (地域ネットくれんど内 松藤・白川)



食事風景

安浦の 聖火ランナー

2020年東京オリンピックの聖火ランナーに、安浦町安登在住の三津田高校2年生、垣井萌花さんが選ばれました。

オリンピック開催に伴い、さまざまな参加の形があると知り、萌花さんは聖火ランナーの募集に応募しました。選出を知り驚きと嬉しさで一杯になりました。萌花さんは現在陸上部に所属し、1500mと3000mが得意で、日々練習に励んでいます。聖火ランナーの日程は5月18日、ぜひ大勢の皆さんに応援してほしいとのことです。一生に一度の貴重な体験だから悔いのないよう全力で向き合い、200mという短い時間を楽しみたいとも言われました。



垣井萌花さん

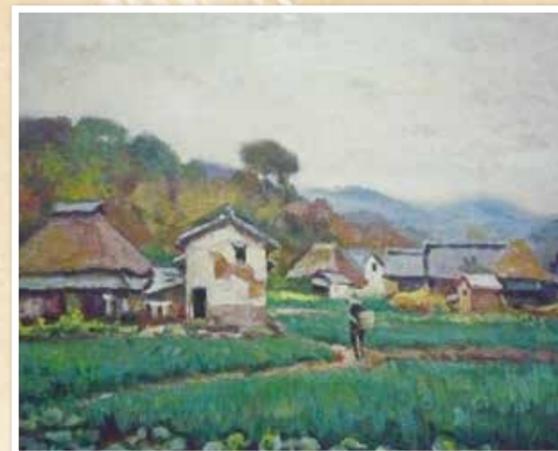


試合で力走中

安浦が生んだ日本洋画の巨匠

みなみ くんぞう 南 薫造

没後70年です



《農村風景Ⅱ》昭和初期頃

日本洋画を代表する画家・南薫造(1883-1950)は安浦町内海に生まれ、東京美術学校卒業後ヨーロッパに留学。帰国後に文展で連続受賞し、若くして画壇での地位を確立しました。風景画を得意とし、故郷内海をはじめとした農村や海景など瀬戸内の情景を描くとともに、アジア各地へ写生旅行におもむき、異国の情景をみずみずしい感性で描き出しました。

2020(令和2)年は、南薫造が没してから70年になります。記念館では、没後70年記念事業として、「自然を映す」展を5月31日まで開催中です。また、未公開作品や常設展示作品のほか、愛用した画材や書籍などを紹介し、その足跡をたどっています。



《読書》1923年



市民の皆様にお会い!! 南薫造作品を探しています。

南の作品を所蔵されている、または所蔵されている人をご存じの方は、文化振興課(25-3462)までご連絡下さい。

おでかけ情報

3月	おしゃべりサロン	毎週(火・木・金) 10:00~15:00	安登駅前駐輪場2階
	安浦地区育児相談室	3/13(金) 10:00~11:30	安浦保健出張所1階健康増進室
	シアター(映写会)	3/27(第4金) 10:00~12:00	安登駅前駐輪場2階
4月	おしゃべりサロン	毎週(火・木・金) 10:00~15:00	安登駅前駐輪場2階
	さわやかクッキング	4/10(金) 10:00~12:30	安浦保健出張所(参加費400円)
	蔵まつり	4/12(日) 10:00~15:00	盛川酒造
5月	安浦地区育児相談室	4/17(金) 10:00~11:30	安浦保健出張所1階健康増進室
	シアター(映写会)	4/24(第4金) 10:00~12:00	安登駅前駐輪場2階

5月	おしゃべりサロン	毎週(火・木・金) 10:00~15:00	安登駅前駐輪場2階
	さわやかクッキング	5/8(金) 10:00~12:30	安浦保健出張所(参加費400円)
	ストレッチング教室	5/19(火) 13:30~15:30	安浦保健出張所
6月	安浦地区育児相談室	5/22(金) 10:00~11:30	安浦保健出張所1階健康増進室
	シアター(映写会)	5/22(第4金) 10:00~12:00	安登駅前駐輪場2階
	おしゃべりサロン	毎週(火・木・金) 10:00~15:00	安登駅前駐輪場2階
6月	さわやかクッキング	6/12(金) 10:00~12:30	安浦保健出張所(参加費400円)
	柏島大祭	6/13(土) 8:00~21:00・14(日) 9:00~14:00	
	ストレッチング教室	6/16(火) 13:30~15:30	安浦保健出張所
6月	安浦地区育児相談室	6/19(金) 10:00~11:30	安浦保健出張所1階健康増進室
	シアター(映写会)	6/26(第4金) 10:00~12:00	安登駅前駐輪場2階

やすうら 記憶遺産

内海 盆踊り



1872(明治5)年創業の行田造船がその頃から使っていた板挽きノコ。安浦の貴重な文化財。

通称、北川、中川、南川と呼ばれる3つの河川があります。3つの河川口が集中し中洲状になった土地の突端に、印象的にそそり立つ建造中の船。宵闇の中、にぎやかな盆踊りが催されています。

この絵は古新開の突端にあった、行田(ゆくた)造船のある日を描いています。1970(昭和50)年に行田造船がこの土地で造船業の役目を終え、安浦から船の建造の音が消えました。歴史をひも解くと、安浦と造船の歴史は中世までさかのぼります。最も古くは、平木、北川で13世紀末に河野水軍の船を造船した、という伝承があります。また、頓原(どんばら)の名家・松田氏は、海がまだ頓原まで深く入り込んでいた時代に回船業を営んでおり、この地には船場の屋号を持つ家もありました。江戸末期には内海村の奥地から続々と運び出される材木を置く藩の納屋所が内海村にあったと言います。中畑には、古代から造船用木材を切り出していたと伝承される船木迫(ふなきごこ)の地名、また原畑には板挽場(いたひきば)と言ひ、野呂山の木を野呂川に流し内海の港まで運んだことに由来する地名が残っています。

船と人と海と。瀬戸内海の、造船の長い伝統にふと気づかされる一枚です。



季節・旬な情報

「安登中学校旗」60年ぶりに発見!!

安登中学校は、昭和33年安浦との町村合併で廃校となりました。

近年校旗の行方が分からなくなっていたが、小学校に持参したとの情報から何回も探していただき、このたび60年ぶりに安登小学校で発見されました。

安浦町でも小学校の廃校が続いていますが、校旗などの貴重品は行方不明になる前に1ヶ所で保管し、いつでも見られるようにしたら卒業生達にとっても喜ばしいことではないでしょうか。



見つかった校旗
新宅教頭先生㊦と畠藤校長先生㊦

昭和33年当時の
安登中学校舎



第12回無添加安浦かき祭り

2月23日(日)グリーンピアせとうちで、12回目となる若部海主催の「安浦かき祭り」が、観光誘客を促進し、地域の賑わいを取り戻すことを目的とし、今年度は呉市共催の各地域で行われる復興リレーイベントとして開催されました。

一番人気の炉端焼きを堪能しながら、バンド演奏、よさこい演奏、神楽などがステージで披露され、イベント最後には大じゃんけん大会で盛り上がりました。ライオンズクラブ40周年記念式典の参加者や、来場者約5,000人の大盛況のうちに安浦の冬の一大イベントが無事終了しました。



我が家の台所 平西精肉店

呉市安浦町中央5-1-49 TEL0823-84-3711

営業時間：9:00～19:00 定休日：日曜日・祭日

平西精肉店は1969(昭和44)年ごろ平西満男さんが、内海の沖中で開業しました。精肉店を開く前から女子畑で牛を飼育し販売していましたが、体調を崩し販売だけにしました。

中学校前の現在店に移ったのは1979(昭和54)年。惣菜も始めたのは2代目の千奈美さんが高校を卒業して1年後の1983(昭和58)年ごろです。それまでに高校に通う傍ら、喫茶店や中華料理店で作り方を習い、目玉商品のコロケはいろいろなお店のものを食べ比べて研究したそうです。肉は、お父さんが卸していた問屋さんから仕入れ、ジャガイモはブランド品の赤崎、注文したら目の前で揚げてくれるのが最高です。口コミで評判が広がり今では広島・八本松・三原・福山からのお客さんも。でも、初め頃のお客さんは中学生だったそうです。

店舗には肉、惣菜をはじめ肉料理用の野菜や調味料もそろえています。一昨年の豪雨で床まで浸水し、店の機材は使えなくなりましたが「起きてしまったものは仕方ない!!」と奮起、半年後の12月22日に再開しました。パワーあふれる千奈美さんですが、「これからもコツコツ、皆さんに愛されるお店にしたい。」と頑張っています。



今日も美味しいコロケが揚がりました。

写真でみる今と昔

安浦アーカイブ

時代とともに様変わりする景色や人々の暮らし、懐かしい風景を
ご覧ください。

赤向坂



昭和15年国防婦会による農作業風景
当時、農村は山の中腹に民家が建てられ、平地は田や畑だった。また各地域に国防婦会がつくられ、食糧増産に務めていた。



上の写真場所と推定。周囲に民家が増えたが、一部の田畑は耕作されず、農道やソーラー発電に変わった。

内海北1丁目



昭和15年献穀田の田植え風景
当時は町内のあちこちで献穀田があり、天皇陛下献上の為、住民総出で田植えや稲刈りを行っていた。後方に生田医院の建物が見える。



昔の田んぼ風景は無くなり、小学校の校庭や体育館、住宅街へと姿を変えた。